

7つある安曇野市の国内友好(交流)都市。それぞれの友好(交流)都市の職員の方々に各自治体の魅力を紹介してもらいます。

図政策経営課都市交流係 (4 71・2402 6 71・5155)



■真鶴町との友好の歴史■

真鶴町とは旧堀金村において、平成7年夏に始まった青少年交流を中心に交流を深めてきました。平成7年9月15日に友好親善提携を、平成10年1月28日には災害時相互支援協定を結びました。

平成18年9月30日、安曇野市として友好都市提携・災害時相互支援協定を結び直し、市民交流を行っています。



真鶴町寄贈
本小松石製の安曇野市役所の銘板

信頼で築く未来、美しく輝く町へ



まなづるまち
神奈川県 真鶴町

- ▶町長 松本 一彦
- ▶所在地 神奈川県足柄下郡真鶴町岩 244 番地の 1
- ▶人口・世帯数 7,115 人・3,449 世帯 (1月1日現在)
- ▶面積 7.05 平方キロメートル
- ▶特産品 海産物・本小松石
- ▶観光名所 真鶴半島 (三ツ石)

真鶴町のご紹介 ～真鶴町ってどんなところ?～

真鶴町は、都心まで約 100 kmの神奈川県西部に位置しており、山と海に囲まれた自然豊かな町です。相模湾に突出した真鶴半島は、町の豊かな自然を象徴しており、その先端に位置する「三ツ石」は景勝地としても有名で、毎年多くの観光客が訪れます。また、真鶴町で採石される「本小松石」は、江戸城の石垣や安曇野市役所の銘板などに使用されており、石材の中でも高級品とされています。



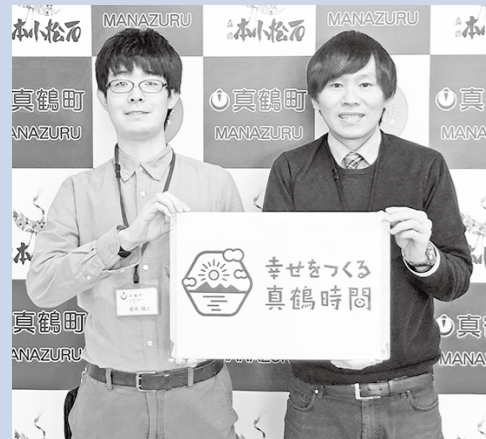
交流事業 ～新そばと食の感謝祭・農林業まつり～

「新そばと食の感謝祭」にて、魚つき保安林*の恵みをたっぷりと受けた真鶴町自慢の干物などの販売、出店を通して漁師町真鶴の良さを楽しんでもらう交流を行っています。また安曇野市からは、真鶴町で開催する「豊漁豊作祭」や民間主催の「真鶴なぶら市」にも参加していただいております。真鶴町民が安曇野市に観光するきっかけになるなど、相互間で住民の交流を深める事業を行っています。



真鶴町の特産品販売

*森林土壌の豊富な栄養分が海に湧き出て、プランクトンを増やし、魚介類の産卵や休憩の場となる日陰を海面に作るなど、魚介類の生息しやすい環境を作る森林。



真鶴町役場

(右) 企画調整課 配島 剣人さん
(左) 産業観光課 青木 開太さん

安曇野市の素敵なおとこ & 真鶴町のココが自慢☆を紹介!

【安曇野市の素敵なおとこ】安曇野市は自然のスケールが大きい! パノラマで一望できる北アルプスなどの雄大な景色には圧倒されます。また、お米や蕎麦、リンゴがとても美味しく、安曇野市を訪問する際の大きな楽しみとなっています。

【真鶴町のココが自慢☆】真鶴町は海や森などの自然に恵まれ、新鮮で美味しい魚が味わえる町です。真鶴半島の森林は県内で最大規模の魚つき保安林に指定されており、森の滋養を豊富に含んだ水が海に湧き出て、「魚を育てる森」と言われています。新鮮な海の幸や手つかずの海岸風景、森林浴で癒される「お林」など、海と森を一度に楽しめる真鶴町で「幸せをつくる真鶴時間」をぜひお過ごしください。

■助産師会と災害協定を締結

市は12月22日、長野県助産師会安曇野地区との「災害時の医療救護活動に関する協定」の締結を市役所で行いました。この協定は、災害時に医療救護活動が必要になった場合に、災害現場や救護所等で助産師が妊産婦や乳幼児のケア、傷病者の手当てなどを行います。



助産師会と災害協定を締結

■全国へ市長に報告

全国大会への出場を受け、12月16日、市長へ報告に来庁された皆さんを紹介します。(敬称略)

JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会(鹿児島県)
フォルツァ松本Jr
・山口悠人(堀金小)
・斎藤友敦(三郷小)

協定書に署名した安曇野地区長の江田真理さんは「市と協力して全力を尽くしたい」と話し、宮澤市長は「より専門的な知識が必要で、妊産婦や乳幼児への支援体制が強化され心強い」と感謝を述べました。

防災講演会

(仮) 危機の時こそトップの出番
～台風災害と新型コロナウイルスに立ち向かう～

令和元年東日本台風(台風19号)および新型コロナウイルス感染症対策において陣頭指揮を執る加藤市長から、この困難に立ち向かい、感じたことをお話しいただきます。

日 2月20日(土) 午後2時～3時(開場午後1時15分)

場 穂高会館講堂 加藤久雄 長野市長

費 無料 定員 200人(先着順)

申 1月25日(月)から2月8日(月)に参加登録申込書を記入の上、危機管理課(2階東側窓口)へ直接・郵送・ファクス・電子メールのいずれかの方法で提出。申込書は同課窓口または市HPから入手できます。

他 2月6日(土)の時点で、長野県新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが松本圏域でレベル4以上の場合は中止とします。

問 危機管理課危機管理担当 4 71・2119 6 72・6739

✉ kikikanri@city.azumino.nagano.jp



◇プロフィール◇

昭和17年11月8日生まれ 長野市出身
(株)本久代表取締役社長、長野商工会議所会頭、長野県商工会議所連合会会長、しなの鉄道(株)取締役会長、長野県体育協会理事長を経て、平成25年11月より長野市長(現在2期目)、平成31年4月より長野市市長会長
好きな言葉は「挑戦また挑戦」、「友達は自分の力、自分は友達の力」